

取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、
ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。

2K4K8K

高シールド

HS
JEITA

DX ANTENNA

屋外用

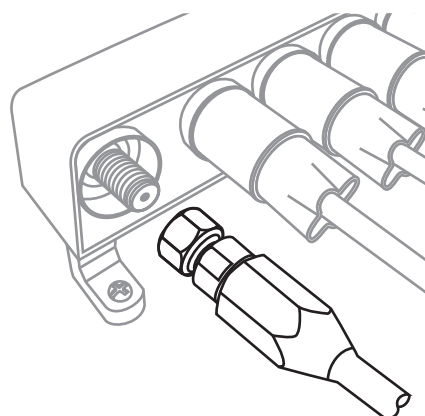
2K・4K・8K放送対応 同軸ケーブル用 C15形(75Ω)

防水形F形接栓

使用帯域(DC～3224MHz)

F5FH2 5C用

F7FH2 7C用



4K8K衛星放送に対応

すべての2K・4K・8K放送(3224MHz)に対応しています。

※圧着工具(別売品)が必要になります

2K4K8K

2K・4K・8K放送対応マークは、BS・110度CS 2K・4K・8K放送(3224MHz)に対応した機器であることを示します。

高シールド

高シールドマークは、携帯電話や各種無線サービスなどとの電波干渉を抑制するため、厳しい社内基準を基にシールド性を高めた製品であることを示します。

HS
JEITA

HSマーク(ハイシールドマーク)は、一般社団法人 電子情報技術産業協会で審査・登録され、衛星テレビジョン放送の間周波数帯域において、一定以上の遮へい性能を有する機器に付与されるシンボルマークです。

安全上のご注意

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

	一般的な注意事項		一般的な禁止事項		指示を守る
---	----------	---	----------	---	-------

警告

この内容が無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

同軸ケーブルを傷つけない

この製品に接続する同軸ケーブルには電流が流れることがあります。接続や接栓の加工などで心線と編組を接触させたり、同軸ケーブルを傷つけないようにしてください。火災や感電の原因となります。



注意

この内容が無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

指定した同軸ケーブル以外を接続しない

火災・感電の原因となることがあります。



締付リングや締付金具は、同軸ケーブルが抜けないように確実に締付ける

同軸ケーブルが抜けたりして、故障の原因となります。



指定している力(トルク)で締付ける

接続ナットを破損したり、接続ナットが緩んだりして、故障の原因となることがあります。



テレビ受信工事には技術経験が必要です

アンテナの設置や配線、接続、移設、撤去については、販売店・工事店にご相談ください。



適合ケーブル

下図のように同軸ケーブルを加工し、①～⑦の順で接栓を取付けて使用してください。

※加工不良があると取付けができません。

使用できる同軸ケーブル

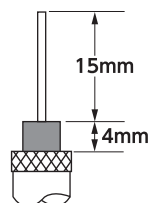
<F5FH2>

S-5C-FB、5C-FL、5C-HFL、5C-HFB

<F7FH2>

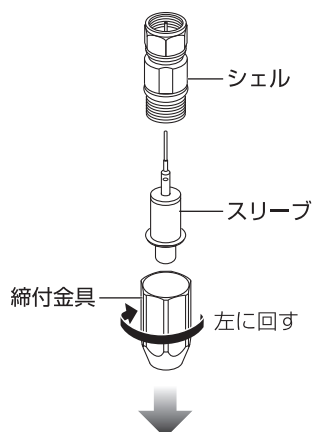
S-7C-FB、7C-FB、7C-HFL

先端の加工方法

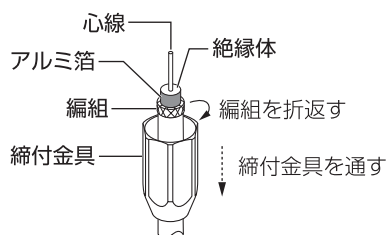


※イラストは編組を折返した状態です。

① 締付金具からシェルとスリーブを取外す

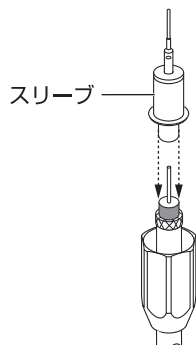


② 同軸ケーブルを加工し、締付金具を通す

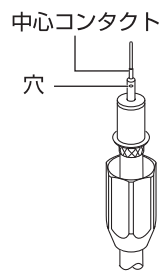


注) 編組で指を傷つけないように気をつけてください。
アルミ箔は折返さないでください。

③ 同軸ケーブルの絶縁体と編組の間にスリーブを差込む

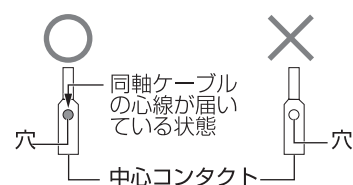


④ 中心コンタクトの差込み状態を確認する



中心コンタクトの穴位置まで同軸ケーブルの心線が届いているか確認してください。

<中心コンタクト拡大図>

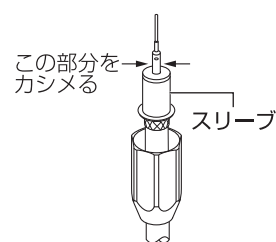


⑤ 中心コンタクトの太い部分を圧着工具(別売品)の下記の表示部でカシメる

注意

ご使用の圧着工具(別売品)に2.3または2.6の表示部があることをご確認ください。

<圧着工具(別売品)>

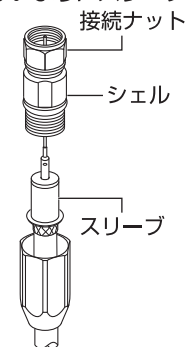


<表示部拡大図>

F5FH2 :
2.3表示部分でカシメる

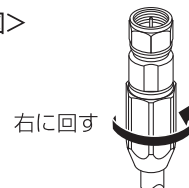
F7FH2 :
2.6表示部分でカシメる

⑥ シェルをすき間がないようにスリーブの外側にはめる



⑦ シェルと締付金具をスパナを用いて締付ける

<完成図>



締付トルク

締付金具 : 4.9N・m
(50kgf・cm)

接続ナット : 1~2N・m
(10~20kgf・cm)

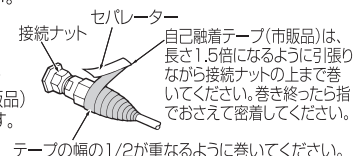
注意

機器に接続した後は、自己融着テープとビニルテープをしっかりと巻きつけてください。

<防水形F形接栓の防水処理>

①自己融着テープを巻き付けます。

②さらにその上にビニルテープ(市販品)をすき間のないように巻き付けます。



テープの幅の1/2が重なるように巻いてください。

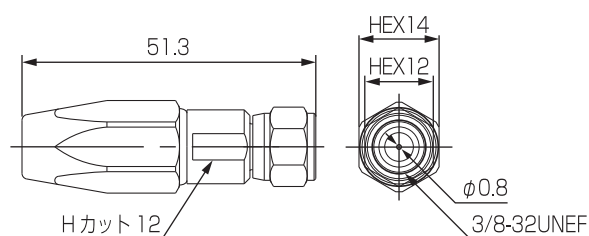
規格表

項 目（単位）	性 能	
型 番	F5FH2 	F7FH2 
使 用 周 波 数（MHz）	DC～3224	
インピーダンス（Ω）	75	
許 容 電 流（A）	1以下	
質 量（g）	31	37

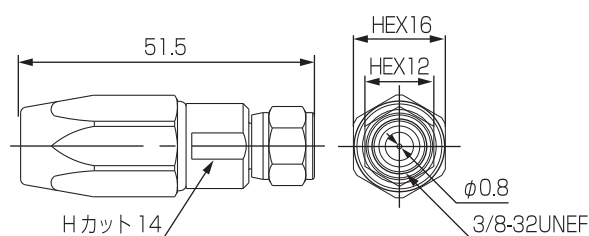
※規格は改良により、予告なく変更させていただくことがありますのでご了承ください。

外形寸法図

F5FH2



F7FH2



（単位：mm）

※本製品を処分するときは、地方自治体のルールにしたがって処理してください。